

科目名		医療安全管理学	教員名	窪田 哲朗、他	学科等	臨床検査	必修	履修年次	4
(科目番号)		(時間割参照)			曜日・時限等	時間割表参照		単位数	1
					授業形態	講義	オフィスアワー	各担当教員シラバス参照	
授業概要		医療分野はヒトの生命に直接関係する。本授業では、医療倫理に係る生命倫理や法的責任範囲を学ぶとともに、皮膚表在・鼻腔・鼻咽頭及び糞便などの検体の採取や検査方法、それに伴う感染対策と標準的な予防策について学ぶ。さらに本授業ではこれらの微生物学的検査における検体の採取方法の実習を通じて業務拡大の涵養に役立てる。							
目的・目標		目的:臨床検査技師による検体採取業務の拡大と生理機能検査項目の追加にともなう知識と技術の習得、およびチーム医療の推進のための医療安全管理に必要な知識と技術、医療事故への対応、医療安全と品質管理、緊急災害時の対応などを学ぶ。 目標:安全に検体採取を行う技術を学ぶ。医療安全管理に必要な知識を取得し、医療事故への対応を理解する。							
準備学習		毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授業計画	回	授業項目		到達目標・学習内容					
	1	医療倫理、医療安全		倫理綱領等を学びインフォームド・コンセントの本質や精神を説明できるようになる。チーム医療への技師の関わり、医療安全について理解し説明できる。					
	2	法的知識と責任範囲		臨床検査技師等に関する法律の構成・歴史、今般法改正に至る経緯、業務拡大の内容等を理解し説明できる。					
	3	微生物学的検査における検体採取：皮膚表在組織病変部－①		感染対策と標準予防策。皮膚表在組織病変部等のウイルス・細菌・真菌等の検体採取に必要な知識・技能・態度について理解し、説明できる。					
	4	微生物学的検査における検体採取：皮膚表在組織病変部－②		皮膚表在組織病変部等の膿・水泡・爪・毛髪等の検体採取に必要な知識・技能・態度について理解し、説明できる。					
	5	微生物学的検査における検体採取：鼻腔拭い液、咽頭拭い液		鼻腔、鼻咽頭の拭い液からのインフルエンザ等における検体採取に必要な知識・技能・態度について理解し、説明できる。					
	6	微生物学的検査における検体採取：鼻腔吸引液		鼻腔吸引液からのインフルエンザ等における検体採取に必要な知識・技能・態度について理解し、説明できる。					
	7	微生物学的検査における検体採取：便の採取		糞便検査における検体採取に必要な知識・技能・態度について理解し、説明できる。					
	8	医療事故の現実、安全人間工学 皮膚表在組織病変からの採取実習－①		医療事故の事例、人間の認知特性に合致した検査機器の設計やトラブルに気づきやすいシステムの構築の必要性について理解し説明できる。 爪・毛髪等からの検体採取、観察、鏡検し説明できる。					
	9	皮膚表在組織病変部からの採取実習－②		爪・毛髪等からの検体採取、観察、鏡検し説明できる。					
	10	皮膚表在組織病変部からの採取実習－③		爪・毛髪等からの検体採取、観察、鏡検し説明できる。					
	11	鼻腔拭い液の採取実習－①		舌圧子の使用法、綿棒による検体採取を理解し説明できる。					
	12	鼻腔拭い液の採取実習－②		舌圧子の使用法、綿棒による検体採取を理解し説明できる。					
	13	咽頭拭い液の採取実習－①		舌圧子の使用法、綿棒による検体採取を理解し説明できる。					
	14	咽頭拭い液の採取実習－② 鼻腔吸引液の採取実習－①		舌圧子の使用法、綿棒による検体採取を理解し説明できる。 吸引用具等の使用法を理解し説明できる。					
	15	鼻腔吸引液の採取実習－②		吸引用具等の使用法を理解し説明できる。					
成績評価の方法・基準		期末試験（100％）（対面・オンライン共通）							
教科書		下記により「医療安全管理学演習」を参照してください。							
参考図書									
教員からのメッセージ		新カリ科目の「医療安全管理学演習」を受講してください。							